

Weekly・Monthly

体験学習ガイド NO.3 (11/19)

□石川塾のあれこれ③～石川塾の新しい看板登場！！～

石川塾の新しい看板が出来上がり、11月5日に河合塾前の電柱にドドーン！！と登場！！
【寺小屋式・2歳から大人まで・個別 読み書き算数石川塾】石川塾長が練りに練って…
石川塾をここに凝縮しました。河合塾前を通る機会があったら是非見てみてください。
目立ってます。読み書き算数に迷える子羊たちの目に、この看板が映り込みますように…。



□読書の時間③

今週は『日本の教師に伝えたいこと』（大村はま/筑摩書房）を読みました。石川塾長におススメしていただいた一冊。子どもを教えるとき、子どもに注意するとき、しかるとき大人はついつい「～しなさい」と言ってしまう。命令であればだれでもできる。命令でなく子どもを自然にさせるように導くことが教師には求められる。「～しなさい」では良質なコミュニケーションはできない。以前コーチングのセミナーに参加した時にも同じことがテーマとなっていた。「～しよっか～」これに言い換えるだけで子どもが決めて動くという魔法の言葉だ。この本を読みながら…また自分の子どもに対する自分の言動に反省した。また明日から「魔法の言葉を使おう！」教師は、単元をしっかりと準備し、いかなる状況にも柔軟にこたえられるようにしておかなければならない。さらに、生き生きとした教室にするために、教師自身が授業に対し生き生きとした態度で臨む必要がある。そして、目標をしっかりと定め目標に到達できるように常に気を配る。現状に甘んじ同じ授業を繰り返すことや、考えさせる授業と言って生徒主体とした生徒任せの授業もいけない。仕向けられているとは分からないように、さも自分たちが主体で進めていると感じられるような授業が望ましい。教師というのは本当に大変な仕事だと思う。入念な下準備、臨機応変に対応する力、目標まで導く気力・技量。教師を見る目が変わります。

□ちゃれんじ②～石川塾体験授業から入塾～

石川塾にお世話になった経緯は、幼稚園のお友達で年少の早いうちからひらがなが読み書きできたり、足し算ができるお子さんに触れて、「私もひらがながを読んだり、書けるようになってお友達にお手紙を書けるようになりたい」という思いに込めようとお教室を探していたところ、石川塾の「国語力を身につける」という内容が気に入り体験を申し込みました。石川塾での3回の体験はとても強烈な印象が残っています。朗読暗唱しながらいろんな言葉をの糸を引っ張って辞書で写真を見ながら言葉の意味を調べたり、いろんな言葉を頼りにたくさん脱線しながら授業が進行していくのです。集中できているし、ペースは保ちながら。親の私まで授業に引き込まれるのでした。石川塾にお世話になるようになってから、ひらがなは書くのはゆっくりでしたが、読むのはすぐに読めるようになりました。朗読暗唱がとても好きで、一生懸命取り組んでいました。●リホさん(小1)のお母さんからの VOICE■(千の声 VOICE2018 秋号より)

□<ワークショップ>からだのいろいろ 2018年12月26日と27日…どちらか1回

1回2時間(10:00～12:00)/申込受付中 お友だちを誘って描いてみませんか

12月26日、27日に「自分の人体解剖図」(心臓・肺臓)を描いてみよう!!のワークショップを行います。講師は私、ミツキでございます。塾のお手伝いをさせていただくまでは病院に勤めておりました医療関係者です。学生の頃から解剖学が好きで…人体の解剖の絵を描くのが好きだったので。ついでに病態生理も好きです。自分の胸の中どうなっているのか…しっていますか。胸部には実にいろいろな臓器が詰まっています。食べ物、空気、血液すべてが通過するのです。気になりませんか…その位置関係。ワークショップでは、まず自分の体の型をとり、模造紙を使ってめくり絵方式で位置関係を作って・学んでいきます。オリジナル解剖図の出来上がりです。今後も、シリーズ化して頭部(脳)腹部(消化器、泌尿器、生殖器)などを取り扱えたらと思っています。小学1年生～6年生・中学生・高校生そして大人も参加できます

